

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

生徒の確かな学力定着に資する教職員の指導力向上、授業の充実

- 1 学習にふさわしい環境づくり
- 2 授業の「量(時数)」の確保と「質」の向上
- 3 生徒の学習へのモチベーションの高揚～前年度の学校課題研究の成果を生かす

＜本年度の学力向上策＞

(1) 授業の質の向上

- ・学習規律の確立と維持に努める。
- ・全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査、新体力テストの結果を分析して課題を明らかにし、授業の改善につなげる。
- ・「よい授業」の4つの視点を意識して、授業の改善と実践に努める。
- ・主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から指導方法を見直す。
- ・少人数指導の充実など、効果的な指導体制を工夫する。
- ・教職員一人ひとりの資質向上に努める。そのために個々のキャリア等にも留意しながら、学校課題研究の他、学校内外のさまざまな研修の機会を積極的に活用する。

(2) 授業の量(時数)の確保

- ・教育課程を適切に管理する。

(3) 信頼性・客観性のある評価

(4) 安心・安全で、「学びの場」にふさわしい教育環境づくりの推進

- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」～積極的な生徒指導の充実に努める。
- ・落ち着いた雰囲気の中で一日が始められるように、朝読書を実施する。

(5) 生き方指導としての進路指導・キャリア教育の継続と充実

(6) その他

- ・小学校との連携～“中1ギャップ”のマイナス面を軽減、克服する。
- ・保護者への働きかけ～家庭学習を励行し、習慣化を促す。

＜本年度の振り返り＞

- 1 授業は規律正しい落ち着いた雰囲気の中で行えている。今年度から始めた朝読書はその一助にもなっており、今後も継続したい。
- 2 授業の「量」の確保はできた。「質」についてもタブレット端末の活用や主体的・対話的で深い学びの視点から指導方法の見直しに取り組んだ。来年度は少人数指導やT・Tの実施等、よりよい指導形態を工夫することと併せてこれを広げ、深め、より定着できるようにしていきたい。その一方、よい授業の土台ともいえる生徒理解・生徒とのコミュニケーションに係る課題が一部にあった。市教委とも連携を図りながら教員一人ひとりの資質向上並びに学校全体の授業力向上に努め、改善していきたい。
- 3 全国調査や市調査の学習に対する関心・意欲・態度を尋ねる設問では良好な数字が得られたが、学習の習慣化や宿題等の提出状況、忘れ物等の改善は課題である。積極的生徒指導の更なる充実や小学校との連携、家庭への働きかけ、宿題の内容や出し方等、大小さまざまな工夫によって克服し、基礎学力の定着・向上に繋げていきたい。